



田中幸太郎県議会レポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会 〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043 (227) 7411

スクランブル交差点 自転車に従う信号は?

6月定例県議会一般質問

ふるさと市川市の発展に力を注いでいる田中幸太郎県議は6月定例県議会で登壇し、工業用水の漏水問題、人材確保対策、避難所での防犯対策などを質問しました。また、多くの人が頭をひねっているスクランブル交差点の自転車での渡り方について、改めて従うべき信号を県警本部長に聞きました。田中県議の質疑と熊谷知事ら県執行部の答弁を紹介します。



県の施策を質問する田中幸太郎県議



歩行者と自転車が一緒に渡るスクランブル交差点

田中議員 本年から自転車の交通違反に対する青

いう声も聞か
がう。そう
がうが、県警
では、歩車分
離式信号機
における自転
車の交通ルー
ルについて、
どのような周
知・啓発を
行っているの
か。また、今
後、県民にわ

切符制度が導入されるなど、自転車利用者にもこれまで以上に交通ルールの遵守が求められる時代になった。
近年、県内では歩行者の安全対策として、スクランブル交差点を含む歩者分離式信号機の整備が進められているが、自転車が歩行者信号に従うのか、車両用信号に従うのか分りにくいと

かりやすいルールの周知について、どのように取り組んでいくのか。
警察本部長 県警では、街頭活動時における指導や交通安全教室、各種キャンペーン等の機会を通じ、車道を通行する場合は車両用信

号機に従うこと、歩道を通行する場合は歩行者用信号機に従うこと、歩道や横断歩道では歩行者の通行を妨げないことなど、自転車の基本的な交通ルールについて、「自転車の交通ルールガイドブック」等を活用するなど

して周知を図っているところ
です。
引き続き、関係機関・団体と連携し、自転車の交通ルールについて、県民の皆様への理解が深まるよう、わかりやすく、丁寧な周知・啓発に努めてまいります。

施設更新 需要・供給に配慮を

工業用水道管

腐食し漏水

田中議員 本年5月26日、市川市南行徳地先において、工業用水道管からの漏水事故が発生した。
幸い、人的被害は確認されていないとのことだが、都市部におけるインフラ事故として、入水企業をはじめ、地域住民や交通への影響も生じた。
そこだろうか、工業用

削して管の状態を確認したところ、局所的な腐食によって5センチメートル程度の穴が1か所開いており、そこから漏水していたことが判明いたしました。
漏水箇所の周辺には、工業用水道管のほか、水道管やガス管、下水道のマンホール等が近接して敷設されている

が進む中で、工業用水道事業についても将来需要を的確に見極めていくことが重要であろうかと思う。
昨年出された国の指針においても、将来需要を踏まえた適正な施設規模の検討が重要とされている
今後の施設更新には多額の投資が必要となることから、アンケート調査や有識者懇親会での意見を十分に踏まえ、需要と供給のバランスに配慮した計画となるよう要望する。

水道管の今回の漏水事故の原因について、どのように分析しているのか。また、再発防止に向け、今度どのように取り組んでいくのか。
企業局長 本年5月26日に市川市南行徳地先で発生した工業用水道管からの漏水について、周辺の道路を掘

「要望」
田中議員 人口減少や産業構造の変化

田中幸太郎 プロフィール

○ 経歴 ○

- 1979年 市川市に生まれる 東海大浦安高校 硬式野球部 東海大学工学部 体育会ヨット部 明治大学大学院ガバナンス研究科修了
- 2007年 市川市議会議員選挙初当選 (3期連続当選)
- 2019年 千葉県議会議員選挙で初当選
- 2023年 千葉県議会議員選挙で再選

県政や市川市のまちづくりに関する相談をお気軽にどうぞ **田中幸太郎事務所** 〒272-0121 市川市末広1-10-4 TEL 047-701-5525 FAX 047-702-5454

オンライン市民相談

人材、都内企業に流出 人出不足に悩む中小企業

田中議員 県内中小企業に話をうかがうと、人出不足が大きな課題であるとの声を多く聞く。特に市川市など東京都に隣接する地域では、賃金や福利厚生などの条件がより充実している都内企業に新規就業者を中心に人材が流出している状況がある。

物価上昇や人件費の高騰もあり、企業努力だけでは採用条件や処理の改善が難しい。

そこだろうかすが、県内中



県の答弁に対して要望する田中県議

小企業の人材確保に向けて、県としてどのように支援していくのか。

知事 高齢化の進展による生産年齢人口の減少や人材の流動化が進み、人材不足が深刻化している中、中小企業が安定した経営を行うっていくためには、企業が求める人材を安定的に確保するとともに、従業員の定着を図っていくことが重要です。

このため県では、従業員の奨学金返還を支援する企業に対する補助や、企業が人材会社を通じて、経営課題の解決のため、専門知識・技術を有する人材を採用する

際の手数料等に対する補助を行うほか、労働関係情報誌「労政ちば」等で、従業員の処遇改善を図る企業などに向けた国の助成金について周知を行っていること

国際観光旅客税の二部 地方公共団体に配分を

田中議員 国際観光旅客税の配分について、成田空港を有する本県としても、地方への配分を国に強く求めるべきと思うがどうか。

商工労働部長 国際観光旅客税は、観光基盤の拡充・強化を図ることを目的とした税であり、使途については、観光地域づくりや誘客プロモーションなど「地方の観光地の魅力向上・地方誘客」のほか、観光地への二次交通の整備など「地方部への交通ネットワークの機能強化」にも活用されます。

このため、国際観光旅

るです。

引き続き、県内経済団体との情報交換の場などあらゆる機会を通じて、県や国の支援制度を積極的に周知をし、活用を促すとともに、

客税の税率引き上げにあたり、昨年度、全国知事会を通じて、国に対し、税収の一定割合を地方団体にとって自由度が高く創意工夫が生かせる交付金

県の補助制度については、効果を検証しつつ、企業からの意見をうかがいながら、より利用しやすいものとするなど、中小企業の人材の確保・定着を支援してまいります。

等により地方に配分するよう検討を求めたところ

また、今後、訪日客のさらなる増加が見込まれることから、引き上げ分は成田空港を抱える本県のインバウンド観光の円滑な推進に資する取組にも活用されるべきであると考えており、本県としても、地域の実情も踏まえて配分されるよう、国に

対する重点要望など様々な機会を捉えて働きかけてまいります。

田中議員 国際観光旅客税は、出国1回あたり1000円から3000円へ引き上げられ、税収が1300億円規模になる試算と

日本一の国際線旅客数を誇る成田空港を有する本県として、成田空港を利用する訪日外国人旅行者等の利便性向上や、県内周遊の促進に活用できるよう、引き続き国に強く働きかけていきたい。

避難所での犯罪防止 民間警備業者と連携協定

田中議員 避難所における防犯対策の強化に向け、県はどのように取り組んでいるのか。

防災危機管理部長 県では、災害の発生に伴う混乱に乗じて行われる避難所での犯罪が問題となったことを受け、誰もが安心して避難所生活を送ることが出来るよう、避難所の防犯対策の充実に取り組んでおり

具体的には、昨年度、九都府市合同防災訓練等において、防犯に関するパンフレットを配布したほか、避難所運営訓練の中で防犯見回り

を実施するよう市町村に働きかけました。

また、民間警備業者と災害時における避難所警備を含む連携協定を締結したところ

さらに、防災啓発サイト「じぶん防災」のほか、今後は、本年度広く県民に配布する予定の「ちば地震防災ガイド」にも避難所における防犯面の注意点を盛り込んで周知

理工・デジタル系 人材の育成急務

田中議員 県教育委員会では、今後の県立高校改革において、理工・デジタル系人材の育成にどのように取り組んでいくのか。

教育長 産業構造の変化による理系人材不足等が懸念される中、AIやデジタル技術を駆使し、社会で活躍できる人材を育成することは、県教育委員会の重要な役割と認識しています。

そのため、袖ヶ浦高校に「先進ITコース」を設置し、企業や大学等との連携によるAIを活用した学びを進めるほか、柏の葉高校の情報理科では、高性能パソコンを活用したデータ解析の実

多様な学びの 学校を開設へ

田中議員 県教育委員会では、午前部、午後部、夜間部の三つの時間帯で学ぶことができる三部制定時制高校へのニーズの高まりを受けて、今後どのように取り組んでいくのか。

教育長 個人の生活スタイルなどに合わせた学びと、集団での学びを両立できる三部制定時制高校へのニ

ズの高まりを踏まえ、県立高校において、生徒一人ひとりの状況等に応じた多様な学習機会を確保することが、これまで以上に求められていると考えています。

そのため、県教育委員会では、特に志願倍率が高い傾向にある定時制の午前部・午後部に、より柔軟な学びを提供できるよう通信制の課程を併せた新しいタイプの学校を令和10年度に設置することとしています。

要望

田中議員 誰もが少しでも安心して避難所生活を送ることが出来るよう、引き続き、災害時の防犯対策の強化に取り組んでいただくよう要望する。